

資料ーサシルイ川

河川環境調査総括表

河川名： サシルイ川

調査年月日： 平成17年9月26日～11月17日(北海道)

- 注1) 河川環境は、河口より高さ1mの天然の滝(魚止滝)までを整理した。
 注2) 区間は、河川工作物、沢の分岐、魚止滝で区切っている(図面：河川工作物及び河川環境の状況の工作物No, データ区分点を参照)。
 注3) プールは工作物等下流の水深、広がり縦×横。 注4) 落差とは工作物等の流水面からプール水面までの高さ。
 注5) 河床組成の①は礫なし、②は20cm以下の礫が主に混在、③は②以上の礫が主に混在、④は岩盤状を指しその占める割合を示す。

区間	区間長(m)	工作物等落差(m)	工作物下流側のプール(m)	工作物等越流水深(m)	水面幅(m)	河川水深(m)	水温(°C)	pH	河床組成(%)	沈み石(%)	河川形態(可児式)	スギゴケの有無	濁水の流入の有無	河畔林(%)	枝沢の数	魚影を確認した魚種
河口～1(北海道)	156				20	0.2	9	7.7	②20③80	0	Bb	無	無	20	0	カラフト・サケ
1(北海道)～2(北海道)	203	1.85	1.91, 23.0*5.0	0.1	8	0.3	9	7.0	②20③80	0	Bb	無	無	60	1	カラフト・サケ
2(北海道)～A	1926	2.67	2.06, 8.0*5.0	0.1	10	0.3	9	7.8	②10③90	0	Aa-Bb	有	無	100	2	オショロコマ
A～B	549				8	0.3	9	7.7	③100	0	Aa	無	無	100	1	オショロコマ
B～C	458				8	0.2	9		③100	0	Aa	無	無	100	1	オショロコマ
本流																

土砂動態調査総括表

河川名： **サシルイ川**

注1) 土砂動態は流域全域を整理した。

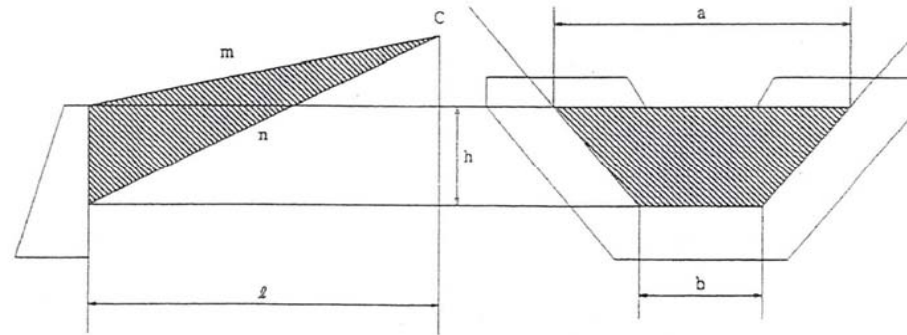
注2) 区間は、河川工作物、沢の分岐、魚止滝で区切っている。

注3) 区間は、別添の図面（崩壊地及び溪流内滞留土砂）内の工作物No、データ区分点を参照する。

区間	区間長 (m)	山腹状況						溪流内滞留土砂 (m ³)
		山腹崩壊地		特殊荒廃地		復旧崩壊地		
		個数	面積 (ha)	個数	面積 (ha)	個数	面積 (ha)	
河口～1(北海道)	156							60
1(北海道)～2(北海道)	203							895
2(北海道)～A	1926	1	0.03					20,065
A～B	549							5,080
B～C	458					1	1.63	1,850
C～本流上部すべて	4,100	18	19.12	1	0.23	14	18.39	2,070
C～海豊川上部すべて	5,500	22	8.61	4	1.47	5	3.27	3,445
A～カミネ川上部すべて	2,900	6	4.18			3	1.97	5,300
計	15,792	47	31.94	5	1.70	23	25.26	38,765

$$V = \frac{1}{6} \cdot \frac{h^2}{n-m} \cdot (a+b+c) \cdot \alpha$$

- V : 推定貯砂量 c : 堆砂区域末端の溪床幅
 h : 治山ダム有効高 α : 割増係数 (ポケットの状態で1.0~1.5)
 a : 放水路部の有効幅 ℓ : 堆砂区域長
 b : 溪床部有効幅 n : 現溪床勾配 m : 計画勾配



サシルイ川				
因子		北海道ダム		計
		No1床固工	No2床固工	
放水路部有効幅 (m)	a	29.8	26	
溪床部有効幅 (m)	b	23.6	21.1	
堆砂区域末端の溪床幅 (m)	c	16	38	
ダム設置前の溪床勾配	n	0.028	0.041	
堆砂勾配	m	0.02	0.018	
ダム有効高 (m)	h	1.5	3.5	
割増係数	α	1	1	
貯砂量 (m³)	V	3,253	7,554	10,807